

# 報 告 書

開 催 日 時	平成30年1月25日(木) 14時～15時50分				
自治協議会名	東部地域住民自治協議会	開 催 場 所	上野東部地区市民センター		
出 席 議 員	百上真奈、川上善幸、福田香織、福村法親				
	司会者	福村法親	記録者	川上善幸	報告者 福田香織
参 加 人 数	34 名				

## 【主な意見・提言、対応等】

- ・ 今回の災害復旧工事の国、県、市の負担、優先順位はどうなっているのか。生活道路を優先すべき。  
→ 確認しておく。平野北谷崩落の復旧工事については3月16日完成予定。
- ・ 芭蕉記念館は市直営にして透明性が保たれるのか。来館者数などホームページに出ていない。  
→ 要になる学芸委員の雇用や、芭蕉顕彰などを含め直営でしっかりやっていく。  
伊賀市が考える計画が不透明であったが、今回細かな提案が出てきたため賛成とした。
- ・ 新庁舎に社協は入れないと聞いている。現在書類を出すのに本庁、大山田支所、阿山支所などあちこちへ行くのが大変である。  
→ 社協の移転場所は未定。新庁舎には教育委員会や建設部は戻って来る予定。
- ・ 消防団員の定数削減は経費削減と聞いているが。  
→ 各消防団に定数や報酬など聞き取りを行っており、行政側だけで定員削減は進めていない。
- ・ 新駅を作って、今後のどのように赤字減らすのか、また新庁舎までの交通手段はどうなるのか。  
回答：当初は10年計画で9年目に黒字化する計画であったが現在は人口減少や高校生の通学に重点が置かれており赤字である。コミュニティバス運行が計画に入っている。
- ・ 本年度7月に再度提出した根本坊池の埋め立て要望の回答はどうなっているのか。  
→ 服部川浚渫工事の残土処分場の候補地とし、国土交通省に申請している。  
今年度中に調査を行い、埋め立てる方向ではあるが時期は未定。
- ・ 地域内の水道管工事について老朽化による入替工事を行ったあと、消防署の移転により太い管への入替工事をしている。1度で済む工事ではなかったのか。  
→ 確認し後日回答します。
- ・ 百条委員会は公開なのか。  
→ 公開である。傍聴してもらえる。
- ・ 小田、平野地区の避難所は桃青の丘幼稚園や西小学校体育館などだが、災害で倒木が発生した場合、

車で避難できない可能性がある。また東部地区の人口が多いためすべての住民が避難できない可能性がある。以前から担当課に伝えているが東部地区全体の避難所について一考してほしい。

→危機管理課へ地区の意見・提案を伝える。

・年末に生活保護受給者から民生委員が恫喝された。それに対する生活支援課の対応に疑問を感じる。

・公共下水道事業について個人負担金45万円もかかる。合併浄化槽のままでも良いのではないか。

→下水道工事について市街地の自治協議会と協議していると聞いている。

・芭蕉記念館は全国から来てもらっても恥ずかしくないものを作ってほしい。

・飲酒問題について。

・地域包括交付金の使い方について、どのような理念で使うのか基本的な考え方がない。一度交付金を増額したにもかかわらず簡単に理由もなしに下げてほしくない。

→他市の事例を参考に検討していると聞いている。地域包括交付金の使い方は地域のスケールメリットを活かした使い方をしてほしい。

伊賀市議会議長 様

平成30年1月31日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成29年度議会報告会1班

班長 百上 真奈